

問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)
1	(1)	98.0	2	(1)	70.1	3	(1)	40.2	4	(1)	64.0
	(2)	95.8		(2)	89.3		(2) ①	62.2		(2)	41.6
	(3) X	88.5		(3) あ	91.9		②	85.1		(3) ①	92.1
	Y	88.7		い	69.7		(3) ① i	82.8		②	97.6
	Z	66.7		う	95.2		ii iii iv	94.1		(4) ①	94.1
	(4)	24.2		(4)	19.4		v	67.1		②	41.4
	(5)	35.6		(5)	21.6		vi	64.0			
	(6)	46.9		(6)	8.7		②	85.1			
(7)	52.5	(7)	4.0								
			(8)カルシウム	20.0							
			マグネシウム	19.6							

合格者最高点 66  
合格者最低点 34

1 (物理分野) エネルギーに関する問題です。

- (1) , (2) 得点源としてほしい問題です。
- (3) 問題の会話文に沿って考えます。Zは、XとYよりは計算が多いので得点率は若干低くなりましたが、概ねよくできていました。
- (4) (3)を理解した上で、学習メモの内容を加味して判断します。大問1の中ではもっとも難度が高い問題です。無解答が目立ちました。
- (5) 実験結果などをグラフで表わすとどうなるか、日頃から意識して勉強していると解きやすかったかもしれません。
- (6) 平均の速さを考えます。
- (7) (5)よりもよくできていました。

2 (化学分野) 水の硬度に関する問題です。

- (1) 問題文の会話と学習メモ1の内容から、正しいものを2つ選びます。2つ選ばなくてはなりません、得点率は高く、よくできていました。
- (2) 得点源としてほしい問題です。よくできていました。
- (3) いずれも同様の計算で算出できますが、(い)だけ得点率が低くなりました。桁が多いので、焦ってしまったようです。
- (4) 試薬AとBを比較する必要があります。期待以上にできていました。
- (5) 沈殿の量からカルシウムの量を求めます。
- (6) (5)の答えを踏まえて、マグネシウムの量を求めます。
- (7) (5)と(6)で求めた値から硬度を算出します。(5)、(6)、(7)と得点率は半減していますが、諦めないことが大切です。
- (8) (5)～(7)に比べると取り組みやすい問題です。期待以上にできていました。

3 (生物分野) インフルエンザに関する問題です。

- (1) 毎年、寒くなってくると鳥インフルエンザのニュースを耳にするようになります。渡り鳥がウイルスを持ち込んでいるという話を聞いたことがあった受験生は有利でした。
- (2) ① 「免疫」という言葉を耳にする機会が増えたと思いますが、期待していたよりは低い得点率でした。  
② よくできていました。
- (3) ① 文字列の並び順を考える問題でした。数学的な処理が得意な受験生が多いように見受けられました。  
② 学習メモなどの情報から判断する問題でした。とてもよくできていました。

4 (地学分野) 地形に関する問題です。

- (1) 基本的な知識問題です。
- (2) 問題文6行目の「流れが速くなり」から、b～dに入る言葉を推測する問題です。期待していたよりは低い得点率でした。
- (3) 基本的な知識問題です。とてもよくできていました。
- (4) ① 基本的な知識問題でした。とてもよくできていました。  
② 問題文で「海水量の変化の理由を含めて」と指示されているので、海水量について触れることが大切です。「地上の氷が増えるので、その分海水量が減り、海面水位が下降する。」や「海水が冷えると体積が減少するため、海水量が減り、海面水位が下降する。」などとなります。